

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	・帰宅願望の強い一部入居者様の安全確保のため、フローア玄関を施錠し、解除ボタンを隠すカバーを取付している。 ・特に自ら開錠できる一部入居者様への見守りを強化し、解除操作時はフローア内への誘導を速やかに行っている。	・止むを得ない理由があるとしても、全入居者様の安全を確保しつつ、自由に内部から開錠できる解放感のあるグループホームを目指す。	・すでに、無断外出防止の対策(玄関に鈴を取付等)を実施している。 ・さらに、入居者の安全確保を行いつつ、無断外出等リスクを軽減できる見守り方法を、ご家族の理解を得ながら検討する。	6ヶ月
2	23	・入居者様一人ひとりの個別対応を実施しているが、今後の重度化に合わせ意思疎通に十分に対応できる知識習得とその体制作りが不十分である。	・「パーソン・センタード・ケア」の「人を尊重する。」考え方の視点や立場に立って、入居者様本位のケアを更に推し進める。	・既にパーソン・センタード・ケアのリーダー育成を終えているが、同手法の理念を自施設に合わせ具体的に展開させる。	6ヶ月
3	36	・日常の介護に追われ、昨今の介護の取り巻く社会情勢を踏まえた権利擁護の考え方や関係諸制度の理解が十分で出来ていない。	・介護スタッフ全員に、権利擁護の考え方や関係諸制度の基本的な知識を深めさせる。	・自社内の全社集合研修計画に反映させる。 ・自施設においても、適時 内部研修を開催させるとともに、リーダー等に外部研修を受講させ他介護スタッフに水平展開を実施する。	6ヶ月
4	11	・スタッフ会議はユニット毎に定期開催されているが、ユニット間の意思疎通を深めるためのスタッフ全体が開催されていない。	・グループホーム全体の円滑な運営のための意識合わせ及び情報、課題等の共有を図れる仕組みを設ける。	・スタッフ全体会議を、年度当初は4月期、下半期開始時は10月期に開催する。また、必要に応じて随時に開催する。 ・ユニット代表による意見交換会を、毎月第3金曜日の安全推進会議に合わせて開催する。	1ヶ月
5	49	・入居者様の外出回数及び触れ合い模様等が十分に記録されていないため、介護スタッフ間での情報共有が不十分である。	・散歩や外気浴(敷地内にて実施)等の全てについて、「外出・散歩実施表」に記録し、介護スタッフ間で情報共有が出来るようにする。	・2~3回程度/週の外気浴を始め、隣接の公園等への散策を実施しているが、その実施様様を定量的、定性的に記録し、今後の介護支援に反映させる。	1ヶ月
6	35	・災害時用飲料水の備蓄量が不十分であり、定期的備蓄量の確認体制が取られていない。	・入居者1名に対し、108L(2L×3日×18名)を目標に確保するとともに、定期的備蓄量の確認体制を整える。	・現行 不足量を早急に確保する。 ・春秋期の防災訓練に合わせ、備蓄量の定期確認を実施する。	3ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。